

# 寅さん歩 その 15

## 江戸・東京(23区)の百名山-11

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていましたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。NHKBS放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。(平成28年9月22日放映終了)4年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイデアをいただきました。「山の日」祝日実施記念として踏破に挑戦したい気持ちになりました。

著者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区44.6mの箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い23区順に紹介します。

五番目に多いのは千代田区、世田谷区、北区で各6山です。千代田区の6山から踏破します。数字は踏破した数の累計です。今回の8つの区で70山踏破となります。最寄り駅は代表例で、都営はシルバーパス使用可です。

### [千代田区]

#### 65. 大内山

#### 66. 紅葉山

千代田1 最寄駅 都営三田線 大手町駅

「大内山」とは皇居の異称で「紅葉山」は宮内庁庁舎裏手の山とのこと。いずれも入れないので、外観を撮影しました。



「大手門」から一般公開されている「皇居東御苑」に入り、  
将軍様のお住まいだった「江戸城」を訪問しました。



明暦の大火で焼失した天守閣は  
天守台（写真右上）のみが残さ  
れています。写真右は天守台に  
上って見た皇居の森です。  
広々とした芝生は江戸城本丸の  
跡地、森の手前辺りが忠臣蔵に  
登場の「松の廊下」跡です。



## 67. 星ノ山

永田町2丁目10 山王日枝神社  
最寄駅 東京メトロ丸の内線 赤坂見附駅

赤坂の「山王日枝神社」のある丘は「星ノ山」、「星ヶ岡」と呼  
ばれたそうです。太田道灌が川越の星野山無量寿寺喜多院から  
勧請したのが名前の由来とのこと。

駅から外堀通りを溜池方面に行くと、大きな鳥居が二つあり

ます。手前の大鳥居からは幡が立ち並ぶ坂道で山頂へ（写真下左）。先の大鳥居は広い石段の上りで右脇の上りエスカレーターで山頂まで行けます（写真下右）



正面上り口（表参道）は写真下左で反対側の国会議事堂側です。



## 68. 三笠山

日比谷公園内 祝田門の近く  
最寄駅 都営三田線 日比谷駅

「祝田門」から入ると目の前にあるのが「三笠山」です。公園案内図にもその名が書かれていました。その向うに「自由の鐘」がある山があります。説明板には「この小丘を含むテニスコート西側一帯は三笠山と呼ばれています。公園造成の時に池などを掘った残土で作られた人口の山で、その当時は全体で三つの笠を伏せた形に似ていたため、この名が付い

たといわれています。

その後、テニスコートの造営など周辺の整備に伴い、山の形は変わりましたが、三笠山の名は残りました」と記載。

写真下左は祝田門を入った正面、右は三笠山の上り口



三笠山山頂

自由の鐘の丘

## 69. つつじ山

日比谷公園内 雲形池畔

最寄駅 都営三田線 日比谷駅

「松本楼」の裏側と「雲形池」の間が「つつじ山」と公園案内図にもその名が記載されています。秋の紅葉・黄葉が見事です。



## 70. 新高山

日比谷公園内 最寄駅 都営三田線 日比谷駅

著者の手島氏も場所が不明と言っていますが、近くに住んでいた人から、昭和の初めに男の子たちが「二百三高地」に見立てて戦争ごっこをやっていたとの話を聞いていたとのこと。寅次郎も公園事務所で聞きましたが、わからず、園内の「水と緑の都民カレッジ」を紹介され、「日比谷公園の歴史」の本を2冊読みましたが、わかりませんでした。明治以降、日比谷公園は陸軍練兵場になっており、日清・日露の戦争の戦勝祝賀会も行われているので、『「ニイタカヤマ ノボレ」もありだ』と思った寅次郎です。

### 【こぼれ話】 皇居東御苑 二の丸庭園

皇居東地区の旧江戸城本丸、二の丸及び三の丸の一部を皇居附属庭園として整備し、昭和43年(1968年)10月1日から宮中行事に支障のない限り一般に公開されています。入園無料、月・金曜日休園。大手門から入り、天守台のある本丸地区に上ると、見落とし勝ちなのが、**本丸地区の下のある二の地区**です。**第9代将軍家重時代の庭絵図面**をもとに「池泉回遊式庭園」として復元された「**日本庭園（二の丸庭園）**」です。



写真下左は昭和天皇の御発意により、都市近郊で失われていく雑木林を復元しようと、武蔵野の面影を持つ樹林として、昭和 57 年(1982 年)から昭和 60 年(1985 年)にかけて整備された「二の丸雑木林」です。  
平成 14 年(2002 年)には拡張され「新雑木林」への流れも作られました、



庭園ではつつじや菖蒲の花も楽しめます。寅さん歩 その 11 江戸・東京の祭-18(花の祭-4)および江戸・東京の祭-25 (花の祭-7)を参照ください。

次回は江戸・東京 (23 区) の百名山-12 です。

平野 寅次郎 拝